

2014年3月13日
一般社団法人 日本船主協会

海上安全セミナーを開催
~海洋・エネルギー安全保障の現状を共有~

当協会は3月5日、日本海事センターとの共催で海上安全セミナーを都内で開催した。このセミナーは海上安全に関する情報や問題意識の共有を目的とするもので、当協会会員会社をはじめ、関係省庁や海事関係団体・企業など150名程が参加し、講演者の話に熱心に耳を傾けていた。

セミナーでは、当協会理事・海上安全委員長の関根知之 飯野海運社長からの開会挨拶に続き、森本敏 元防衛大臣が「わが国を取り巻く国際情勢と国際安全保障」をテーマに基調講演し、その中で米国・中国等の最新動向を説明するとともに、日本は海洋国家として海洋の資源、環境、シーレーン防衛および離島保全等など総合的な管理運用を推進すべきであり、沿岸警備については法執行機関および海洋監視の能力強化を進め、シーレーン沿岸国の海上保安能力の向上を支援することが必要と指摘した。続いて、田中伸男 元国際エネルギー機関(IEA)事務局長は「最新世界情勢とエネルギー安全保障」をテーマに、停止中の原子力発電所の再稼働と持続可能な電力供給のための多様な電源の確保が必要との見解を示した。竹田いさみ獨協大学教授は「海賊対策の現状と国際連携」をテーマにギニア湾における海賊問題や世界の海上危険スポットについて紹介した。

当協会では海事関係者等を対象とする海上安全・環境保全に関するセミナーを今後も継続的に開催し、問題意識の共有等を図っていくこととしている。



関根 海上安全委員長 (飯野海運社長)



森本 元防衛大臣



田中 元 IEA 事務局長



竹田 獨協大学教授